

令和5年度

学校評価（自己評価）報告書

岩見沢市立光陵中学校

□学校の概要

【 学 校 名 】	岩見沢市立光陵中学校 所在地: 〒068-0827 岩見沢市春日町1丁目10番37号		
【 電 話 番 号 】	(校長室) 22-3040	(職員室) 22-0037	(事務室) 22-1967
	(支援学級) 22-1970	(FAX) 22-3372	
【 創 立 】	昭和22年(1947年)5月1日(木)		
【 校 長 】	藤田 祐二		
【 教 頭 】	三國 均	【 主 幹 教 諭 】	西谷 幸一
【教務グループ主任】	相河 範子	【指導グループ主任】	藤井 貴之
【 学 年 学 級 】	普通学級:16学級	特別支援学級:3学級	合計:19学級
【 生 徒 数 】	1年:206名 2年:182名 3年:188名 計576名		
【 職 員 】	校長:1名 教頭:1名 主幹教諭:1名 教諭:32名 養護教諭:2名 事務職員:1名		
	英語指導助手(ALT)1名 時間講師:1名 事務補:1名 業務主事:2名		
	スクールカウンセラー:1名 支援員1名 学習指導員:2名 部活動指導員1名 計48名		

I 学校の教育目標

本校の校訓と教育目標

昭和22年の開校以来、本校教育の指標としてきた校訓「四つの光」を、昭和31年、教育目標として制定した。

校訓「四つの光」	教 育 目 標
知の光…磨かれた知性	自ら真理を求め、進んで学び、よく考える。
愛の光…美しい心情	自らあたたかな心を養い、友をいたわり、よく助け合う。
行の光…徳行と技術	自ら働く喜びを求め、責任を持って行動する。
健の光…すぐれた健康	自ら健康に関心を持ち、気力に満ちた心身をきたえる。

II 中期および単年度の具体的目標

1. 令和5年度の経営方針

「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」の具現化 自己実現100%をねらう学校の創造

2. 令和5年度の経営の重点

(I) 授業改善

① 「教えて考えさせる」授業スタイルを基盤とした「子供と創る授業」の推進

- ・「教えて考えさせる」授業の年間指導計画に基づいた毎時間の授業の実践
- ・生徒が問いを立てる「子供と創る授業」の実践
- ・ICT機器等を用いた生徒の思考を広げる授業実践
- ・単元毎の評価に基づく、指導と評価の一体化による授業改善
- ・自分の考えに根拠を加え、相手に伝わるような声でコミュニケーションする力の育成

② 「しなやかな道徳」の授業の実践

- ・価値の押しつけではなく、生徒が自分の良さを発見し、意欲を喚起する授業の実践

- ・教員の授業スキル「R Y T K」等を用いた多様な思考を引き出す実践

③ 支持的・親和的学級風土づくりとレジリエンスの獲得

- ・ピア・サポート実践による安心の保障とレジリエンス獲得によるしなやかな生き方の育成
- ・共感的に生徒に寄り添う指導実践と自己効力感向上への教育活動の意図的な取組
- ・学校適応が困難な生徒に寄り添った組織的な対応

④ 生徒の客観的数値に基づく学力の一層の向上

- ・標準学力検査結果、全国学力・学習状況調査結果の分析と授業改善へのフィードバック
- ・全国学力学習状況調査の対全国平均値 115 以上、下位 25%以下正答率に含まれる生徒を 15%以下
- ・N R T 標準学力検査で対全国平均値 115 以上、学力評定「1」「2」生徒の割合 15%以下

(2) 組織的学校運営と「働き方改革」

① 「学校経営会議」の機能化

- ・経営方針の達成度等の検証と改善の見通しの明示（ooda ループ）
- ・学校運営や学年、分掌運営上の課題解決に伴うボトムアップ・ボトムダウンの円滑化

② 主任の裁量権拡大

- ・分掌、学年運営の独自性の発揮と切磋琢磨
- ・主体的に学校運営に参画する教員育成（考動力の習慣化・協働力の日常化・多観力の意識化）

③ 施錠時間の設定

- ・前期 20:30、後期 19:30 施錠 「終わりの時間を意図的に設定する勤務」

④ 教育課程の適正な管理と教育活動の精選

- ・「学校経営会議」による検証と全教職員による検討及び改善

⑤ 慣例的に行って来た教育活動の見直し

- ・あらゆる業務及び教育活動の検証と改善
- ・教育の DX（デジタルトランスフォーメーション）を推し進め、本務遂行の省力化を促進
- ・学校主体から地域との共同体制で実施する部活動への段階的移行

Ⅲ 各種具体的な計画

光陵中が目指す子どもの姿

他者と協働し、解を生み出す生徒

令和5年度の光陵中の目指す子どもの姿を他者と協働し、解を生み出す生徒と設定しました。ここで言う協働は、共に考え、共に行動し、結果や成果を共に得ること。互いにプラスとなり、相乗効果を得ること。解は、知識・技能をもとにした正しい解や、答えのない課題に対する新しい解や納得解（自他ともに納得できる解）とします。また、これまで学習スキルとして教室前に掲示してきたものを新しくします。

目指す子どもの姿を実現するために、何ができるようになれば良いかを考え、大きく3点、さらに3つずつに分けて、合計9つのスキルを示しました。授業の中では、これらのスキルを向上させる仕掛け・方法を考え、実践を行なっていきます。学習アンケートでも、これらのスキル向上について回答をさせることにより、現状の把握や改善を図ります。

	共同	協同	協働
意味	複数の人や団体が、同じ目的のために一緒にことを行うこと。	互いに協力し合うこと。	同じ目的のために、対等の立場で協力して共に働くこと。
補足	共同生活や共同経営と表現してみるとわかりやすい	支えあい、助け合って互いに協力しあうこと	それぞれの得意分野を活かしながら一致団結し、力を合わせて物事を行うこと

子どもに身に付けさせたい学習スキル

言語能力	聞く	相手の立場に立って共感する
	書く	見る人に伝わりやすく書く
	話す	相手が納得するように話す
情報活用	収集	インターネットや文献から必要な情報を集める
	分析	情報の共通点・相違点を見つけたり、分類する
	構築	考えている課題に対して、情報を選択して自分の考えを作る
問題発見・解決	課題の形成	自ら問題を見つける
	ゴール設定	問題の解決した姿を自ら設定する
	見通し	問題の解決に向けた過程をつくる

次ピア・サポートです。「他者と協働して解を生み出す」ために、他者とのコミュニケーションが必要不可欠となります。自分の考えを安心して発信できる集団となるためには、相手の考えを受け止めることが必要であり、共に学習する集団である学級に所属する生徒が互いに「安心・安全」を感じられる集団でなければなりません。その土台を作る手立てとして、ピア・サポート学習を継続し、行事等を活用した全校的な取り組みにより、より活性化させる。また、ピア・サポート学習によって養うスキルとして、コミュニケーション力だけでなく、課題解決や対立解消のスキルを扱うことにより、目指す子ども像を達成するために必要なスキルを育成します。

Ⅳ 各種評価結果と改善策

Ⅰ. 学校評価の進め方について

(1) 学校評価の目的

- ① 自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- ② 自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。

(2) 学校評価の種類

① 自己評価

生徒アンケート、保護者アンケートを実施した上で、教職員アンケートを基盤に自己評価を行う。

(中間評価では、保護者アンケートを実施しない。)

② 学校関係者評価

学校の自己評価の結果について、学校運営協議会の評価委員がその妥当性等について評価を行う。

(中間評価では、学校関係者評価を実施しない。)

(3) 学校評価の回数、並びに、各回のねらい及び方法

① 回数2回(7月、11月)

② ねらい・方法

ア 7月(中間評価)

- ・教育活動に関する生徒と教職員の意識を把握し、その後の教育活動の充実に役立てる。
- ・生徒アンケートを実施した上で、教職員アンケートを基盤に自己評価を行う。なお、評価結果は8月に学校だよりで公表する。

イ 11月

- ・教育活動等について自己評価及び学校関係者評価を実施し、その後の学校改善に役立てる。

- ・生徒アンケート、保護者アンケートを実施した上で、教職員アンケートを基盤に自己評価を行う。また、学校運営協議会の評価委員がその妥当性等について評価を行う。なお、評価結果は、１月に学校だより等で公表する。

(4) アンケートの評価項目

- ① 学習指導に関する項目（４）
- ② 生徒指導に関する項目（４）
- ③ 学校生活全般に関する項目（４）

(5) アンケートシート及び学校評価シート 別添のとおり

(6) その他

- ① アンケートはGoogle アプリを活用する。
- ② アンケートは、生徒、保護者、教職員の三者共通の項目について尋ねることを基本とする。

令和5年度学校評価シート【学習指導】

岩見沢市立光陵中学校

1 アンケートの結果

No.	評価項目	生徒	保護者	教職員
1	教職員はわかりやすく丁寧に授業を進めている。	3.48	3.16	3.24
2	教職員は生徒が自分で課題を解決したり、意見を発表したりする授業をしている。	3.53	3.20	3.12
3	教職員はタブレットなどのICT機器を効果的に活用して授業を進めている。	3.66	3.28	3.29
4	教職員は道徳科の時間に人間としての生き方を深めることができるよう教え方を工夫している。	3.57	3.18	3.06

(数値は4が最高、1が最低)

2 アンケート結果の分析・考察

生徒の評価について、いずれの項目もA評価が50%以上。B評価を合わせると肯定的な意見がいずれも90%以上となっていることから評価が高い結果となった。特に質問3のICTの活用については、A評価が70%。この結果は、日頃から研修係を中心とした授業改善の取り組みが効果的であると考え。

保護者の評価について、いずれの項目もA・B評価を合わせると肯定的な意見がいずれも94%以上となっていることから評価が高い結果となった。

3 学校の自己評価及び評価理由等

A	生徒と保護者のアンケート結果が肯定的な評価がどの項目も9割を達成している。
---	---------------------------------------

(A：よい、B：概ねよい、C：改善を要する)

4 学校関係者評価

(1) 学校の自己評価に対する評価

自己評価の妥当性		取組の適切さ	
A	○	A	○
B		B	
C		C	

(A：妥当、B：概ね妥当、C：改善を要する)

(2) 評価理由と改善意見等

- 先生方の一生懸命さ、各教育活動の質など一定の評価ができ、これらは数値にもよく表れている。光陵中学校は、市内でも注目されており、今後の学校運営についても引き続き期待したい。
- 校区の小学校との連携をより充実させながら、子どもたちのよりよい成長に向けて、取り組んでもらいたい。今後も、目的と手立てを区別しながらリーディングスクールとして貢献されることを期待したい。

令和5年度学校評価シート【生徒指導】

岩見沢市立光陵中学校

1 アンケートの結果

No.	評価項目	生徒	保護者	教職員
1	教職員は生徒一人一人の性格や考え方を大切に、よさを伸ばす指導をしている。	3.44	3.17	3.24
2	教職員は悩みごとや相談ごとがあるときに親身になって応じている。	3.46	3.27	3.41
3	教職員は生徒がルールやマナーを守り、規律や規範意識を育てる指導をしている。	3.56	3.19	3.35
4	担当している学級や学年は、思いやりがあり、お互いを認め合う温かい雰囲気がある。	3.36	3.12	2.82

(数値は4が最高、1が最低)

2 アンケート結果の分析・考察

生徒の評価について、すべての項目がA評価51%以上。B評価を含めると87%以上が肯定的な評価をしている。特に質問7：「先生は、生徒がルールやマナーを守り、規律や規範意識を育てる指導をしている」がA評価63%であった。

保護者の評価について、いずれの項目もA・B評価を合わせると肯定的な意見がいずれも87%以上となっていることから評価が高い結果となった。これらの結果から、先生方の生徒に徹底的に寄り添う指導やピア・サポートなどの人間関係づくりなどの指導が効果的であると考えられる。

3 学校の自己評価及び評価理由等

A	生徒と保護者のアンケート結果が肯定的な評価が1項目を除いて全ての項目で9割を達成している。
---	---

(A：よい、B：概ねよい、C：改善を要する)

4 学校関係者評価

(1) 学校の自己評価に対する評価

自己評価の妥当性	取組の適切さ
A	○
B	
C	

(A：妥当、B：概ね妥当、C：改善を要する)

(2) 評価理由と改善意見等

- ・生徒アンケートのA評価が全項目で過半数を超えていることから、先生方が日々子どもたちのよりよい成長に向けて取り組んでいることが分かる。保護者や関係機関等との連携をさらに強化する上でも、コミュニケーションの一層の充実に期待したい。
- ・日常の教育活動を理解するには数回の参観では限界があり、実態を捉えることが難しい。適切な評価に向けて、子どもたちの様子やアンケート結果などの変容を見取れるような工夫した資料提示を期待したい。

令和5年度学校評価シート【学校生活全般】

岩見沢市立光陵中学校

1 アンケートの結果

No.	評 価 項 目	生徒	保護者	教職員
1	学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されている。	3.37	3.11	2.71
2	学校は地域の人々の協力を得たり、学習環境を生かしたりするなど、地域とのつながりを大切にしている。	3.32	3.08	3.00
3	生徒は学習や学校行事、学級活動、生徒会活動、校外学習などに前向きに取り組んでいる。	3.49	3.25	3.18
4	生徒や保護者は、自分や子どもが、光陵中学校の生徒でよかった、と考えていると思う。	3.42	3.31	2.94

(数値は4が最高、1が最低)

2 アンケート結果の分析・考察

生徒の評価について、4項目すべての項目がA評価37%以上。B評価を含めると87%以上が肯定的な評価をしている。

保護者の評価について、いずれの項目もA・B評価を合わせると肯定的な意見がいずれも88%以上となっていることから評価が高い結果となった。

3 学校の自己評価及び評価理由等

A	生徒と保護者のアンケート結果が肯定的な評価が1項目を除いて全ての項目で9割を達成している。
---	---

(A：よい、B：概ねよい、C：改善を要する)

4 学校関係者評価

(1) 学校の自己評価に対する評価

自己評価の妥当性	取組の適切さ
A ○	A ○
B	B
C	C

(A：妥当、B：概ね妥当、C：改善を要する)

(2) 評価理由と改善意見等

- ・生徒、保護者ともに肯定的な回答が9割近いことから、学校生活の満足度が分かる。地域とのつながりを目的に10月に開催した「CA文化祭」の成果・課題を踏まえ、学校と地域がさらに連携・協働していくことを期待したい。
- ・中央ブロック4校の連携をはじめ、コミュニティ・エリア(CA)が、さらに機能することで、「中1ギャップ問題」の解消をはじめ、地域と一体となった特色ある学校づくりが促進されることを期待したい。

生徒の皆さんへのアンケート

このアンケートは、皆さんの学校生活の様子を知るために行うものです。これまでの中学校生活を振り返って回答してください。分からないことがある場合は、担任の先生に質問してください。

評価はAからDの一つを選んで○印を付けてください。

A：よく当てはまる

B：おおむね当てはまる

C：あまり当てはまらない

D：全く当てはまらない

	No.	評 価 項 目	評 価
学 習 指 導	1	先生はわかりやすく丁寧に授業を進めている。	A・B・C・D
	2	先生は生徒が自分で課題を解決したり、意見を発表したりする授業をしている。	A・B・C・D
	3	先生はタブレットなどのICT機器を効果的に活用して授業を進めている。	A・B・C・D
	4	先生は道徳科の時間に人間としての生き方を深めることができるよう教え方を工夫している。	A・B・C・D
生 徒 指 導	5	先生は生徒一人一人の性格や考え方を大切にし、よさを伸ばす指導をしている。	A・B・C・D
	6	先生は悩みごとや相談ごとがあるときに親身になって応じている。	A・B・C・D
	7	先生は生徒がルールやマナーを守り、規律や規範意識を育てる指導をしている。	A・B・C・D
	8	あなたの学級や学年は、思いやりがあり、お互いを認め合う温かい雰囲気がある。	A・B・C・D
学 校 生 活 全 般	9	学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されている。	A・B・C・D
	10	学校は地域の人々の協力を得たり、学習環境を生かしたりするなど、地域とのつながりを大切にしている。	A・B・C・D
	11	自分は学習や学校行事、学級活動、生徒会活動、校外学習などに前向きに取り組んでいる。	A・B・C・D
	12	自分は光陵中学校の生徒でよかったと思っている。	A・B・C・D

学校生活をよりよくするための意見があれば、下の欄に記入してください。

--

保護者の皆様へのアンケート

1 選択式による評価

評価はAからDの一つを選んで○印を付けてください。

A：よく当てはまる

B：おおむね当てはまる

C：あまり当てはまらない

D：全く当てはまらない

	No.	評 価 項 目	評 価
学 習 指 導	1	教職員はわかりやすく丁寧に授業を進めている。	A・B・C・D
	2	教職員は生徒が自分で課題を解決したり、意見を発表したりする授業をしている。	A・B・C・D
	3	教職員はタブレットなどのICT機器を効果的に活用して授業を進めている。	A・B・C・D
	4	教職員は道徳科の時間に人間としての生き方を深めることができるよう教え方を工夫している。	A・B・C・D
生 徒 指 導	5	教職員は生徒一人一人の性格や考え方を大切にし、よさを伸ばす指導をしている。	A・B・C・D
	6	教職員は悩みごとや相談ごとがあるときに親身になって応じている。	A・B・C・D
	7	教職員は生徒がルールやマナーを守り、規律や規範意識を育てる指導をしている。	A・B・C・D
	8	お子さんの学級や学年は、思いやりがあり、お互いを認め合う温かい雰囲気がある。	A・B・C・D
学 校 生 活 全 般	9	学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されている。	A・B・C・D
	10	学校は地域の人々の協力を得たり、学習環境を生かしたりするなど、地域とのつながりを大切にしている。	A・B・C・D
	11	お子さんは学習や学校行事、学級活動、生徒会活動、校外学習などに前向きに取り組んでいる。	A・B・C・D
	12	お子さんは光陵中学校の生徒でよかったと思っている。	A・B・C・D

教職員へのアンケート

1 選択式による評価

評価はAからDの一つを選んで○印を付けてください。

A：よく当てはまる

B：おおむね当てはまる

C：あまり当てはまらない

D：全く当てはまらない

	No.	評 価 項 目	評 価
学 習 指 導	1	教職員はわかりやすく丁寧に授業を進めている。	A・B・C・D
	2	教職員は生徒が自分で課題を解決したり、意見を発表したりする授業をしている。	A・B・C・D
	3	教職員はタブレットなどのICT機器を効果的に活用して授業を進めている。	A・B・C・D
	4	教職員は道徳科の時間に人間としての生き方を深めることができるよう教え方を工夫している。	A・B・C・D
生 徒 指 導	5	教職員は生徒一人一人の性格や考え方を大切にし、よさを伸ばす指導をしている。	A・B・C・D
	6	教職員は悩みごとや相談ごとがあるときに親身になって応じている。	A・B・C・D
	7	教職員は生徒がルールやマナーを守り、規律や規範意識を育てる指導をしている。	A・B・C・D
	8	担当している学級や学年は、思いやりがあり、お互いを認め合う温かい雰囲気がある。	A・B・C・D
学 校 生 活 全 般	9	学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されている。	A・B・C・D
	10	学校は地域の人々の協力を得たり、学習環境を生かしたりするなど、地域とのつながりを大切にしている。	A・B・C・D
	11	生徒は学習や学校行事、学級活動、生徒会活動、校外学習などに前向きに取り組んでいる。	A・B・C・D
	12	生徒や保護者は、自分や子どもが、光陵中学校の生徒でよかった、と考えていると思う。	A・B・C・D

令和5年11月8日

光陵中学校 保護者の皆様

岩見沢市立光陵中学校

校長 藤田 祐二

令和5年度 学校評価アンケートへの回答について(お願い)

日頃から、本校教育の推進に対し、ご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、本校では、毎年、保護者の皆様を対象としたアンケートを実施し、家庭や地域と一体となった教育の充実に努めているところであり、本年度も次のとおり実施することといたしました。

つきましては、保護者の皆様には、何かとお忙しい中、お手数をおかけしますが、アンケートへの回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1 回答期間

令和5年11月8日(水)から11月17日(金)まで

2 回答方法

スマートフォン・PC等でインターネットを介して回答ください。

右の二次元コードからアクセスし、回答を入力してください。

(アンケートは、Googleフォームを用いています。)

<https://forms.gle/YJS94zzRN9V7d2Ji8>



こちらの二次元コードを読み取っていただくと、直接アンケートフォームへアクセスできます。

3 記入にあたって

(1) クラスは、各学年ともに1組から6組で選択ください。本校に兄弟姉妹が在籍のご家庭は、学年ごとに集計するため、お手数ですが、一人ずつアクセスしていただき、回答にご協力ください。

また、特別支援学級在籍のご家庭は、協力学級でご回答ください。

(2) アンケートは、記名式と無記名式があり、いずれもメリット、デメリットがあると言われています。本校では、記名式を基本としていますが、無記名でも差し支えありません。

(3) 設問は、選択12項目、記述3項目です。回答がむずかしい項目については、お子さんから話をお聞きになるなどして可能な範囲でご回答ください。

4 その他

アンケートの集計結果は、2月を目処にお知らせします。

子どもが輝く岩見沢の教育づくり ～未来のトビウを拓く、教育のまち 岩見沢～
「よい地域」には「よい学校」があり、「よい学校」をつくることで、「よい地域」が形成される

岩見沢市立光陵中学校 学校だより 岩見沢市立光陵中学校
Tel. 22-0037 Fax 22-3372

「自己実現100%」をねらう学校の創造
Koryo

第 7 号
令和 5 年 9 月 25 日
発行責任者 藤田 祐二



《校訓「四つの光」》
「知」の光…磨かれた知性
「愛」の光…美しい心情
「行」の光…徳行と技術
「健」の光…すぐれた健康

《教育目標》
自ら真理を求め、進んで学び、よく考える。
自らあたかな心を養い、友をいたわり、よく助け合う。
自ら働く喜びを求め、責任を持って行動する。
自ら健康に関心をもち、気力に満ちた心身をきたえる。

《実践目標》四つの光に学ぶ自信と誇りを育み、たくましく生き抜く生徒を育成する。

光陵校区CA学校運営協議会 スローガン 「地域・家庭・学校がWin & Winのお付き合い ～そこから生まれる生きがい・学びがい・関わりがい～」

中間評価・生徒アンケートの結果から 校長 藤田 祐二

○生徒から前期の光陵中学校の学校生活における学習指導・生徒指導・学校生活全般の4つのカテゴリー・12項目とよりよい学校生活のためにという記述式のアンケートを実施しました。12項目のアンケートの結果の分析・考察については、以下のとおりです。

○また、よりよい学校生活のためにという記述式の回答につきましては、各学級で担任よりフィードバックします。この中間評価を通じて、今年度の前期の教育活動を振り返り、学校の現状を見つめ直し、工夫・改善を図っていきます。目の前の生徒たちのために、より充実した教育活動が展開できるように、今後も保護者の皆様、地域の方々のご理解、ご協力をいただきながら、職員一丸となってチーム光陵で取り組む所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

項目	生徒アンケート結果【学習指導】	肯定的回答
1	先生はわかりやすく丁寧に授業を進めている。	96%
2	先生は生徒が自分で課題を解決したり、意見を発表したりする授業をしている。	97%
3	先生はタブレットなどのICT機器を効果的に活用して授業を進めている。	95%
4	先生は道徳科の時間に人間としての生き方を深めることができるよう教え方を工夫している。	94%

アンケート結果の分析・考察

生徒の評価は、肯定的な意見回答が94%以上です。学習指導の生徒の満足度が高い結果となりました。特に項目1・2の評価が高い結果は、教えることは教え、それをもとに課題解決に向けて、教師がファシリテーターとして生徒の意見や考えを引き出して学習した結果と考えます。さらにICTの活用については、全道・全国の結果でも上位の結果となっています。

項目	生徒アンケート結果【生徒指導】	肯定的回答
5	先生は生徒一人一人の性格や考え方を大切に、よさを伸ばす指導をしている。	90%
6	先生は悩みごとや相談ごとがあるときに親身になって応じている。	92%
7	先生は生徒がルールやマナーを守り、規律や規範意識を育てる指導をしている。	96%
8	あなたの学級や学年は、思いやりがあり、お互いを認め合う温かい雰囲気がある。	90%

アンケート結果の分析・考察

生徒の評価は、すべての項目が肯定的な回答が90%以上です。生徒指導の生徒の満足度が高い結果となりました。しかし、生徒アンケート質問5「教職員は生徒一人一人の性格や考え方を大切に、よさを伸ばす指導をしている」、質問8「あなたの学級や学年は、思いやりがあり、お互いを認め合う温かい雰囲気がある」の否定的な回答が10%以上ありました。この2項目については、本校教育の目標である「誰一人取り残さない教育」の観点から、全体の10%、約50人の意見にも耳を傾けて寄り添い対応していきます。

項目	生徒アンケート結果【学校生活全般】	肯定的回答
9	学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されている。	90%
10	学校は地域の人々の協力を得たり、学習環境を生かしたりするなど、地域とのつながりを大切にしている。	89%
11	自分は学習や学校行事、学級活動、生徒会活動、校外学習などに前向きに取り組んでいる。	91%
12	自分は光陵中学校の生徒でよかったと思っている。	90%

アンケート結果の分析・考察

生徒の評価は、すべての項目が肯定的な回答が89%以上です。学校生活全般の生徒の満足度が高い結果となりました。項目10については、コロナ禍で地域との連携が難しい中でも、CS文化祭や児童・生徒の見守り活動などできることを推進してきた結果であるとされます。これからCAとして取り組んでいることを明確にして、地域と共にある学校づくりを推進します。

子どもが輝く岩見沢の教育づくり ～未来のトビウを拓く、教育のまち 岩見沢～
「よい地域」には「よい学校」があり、「よい学校」をつくることで、「よい地域」が形成される

岩見沢市立光陵中学校 学校だより 岩見沢市立光陵中学校
Tel. 22-0037 Fax 22-3372

「自己実現100%」をねらう学校の創造
Koryo

第 14 号
令和 6 年 2 月 22 日
発行責任者 藤田 祐二



《校訓「四つの光」》
「知」の光…磨かれた知性
「愛」の光…美しい心情
「行」の光…徳行と技術
「健」の光…すぐれた健康

《教育目標》
自ら真理を求め、進んで学び、よく考える。
自らあたかな心を養い、友をいたわり、よく助け合う。
自ら働く喜びを求め、責任を持って行動する。
自ら健康に関心をもち、気力に満ちた心身をきたえる。

《実践目標》四つの光に学ぶ自信と誇りを育み、たくましく生き抜く生徒を育成する。

光陵校区CA学校運営協議会 スローガン 「地域・家庭・学校がWin & Winのお付き合い ～そこから生まれる生きがい・学びがい・関わりがい～」

学校評価アンケート結果から 校長 藤田 祐二

○11月に実施しました学校評価アンケート結果の分析・考察を次のとおりお知らせします。今年度は、学習指導、生徒指導、学校生活全般の3区分・12項目について評価していただくとともに、それぞれの区分で「意見・ご要望等」を記入いただいたところです。

○今後におきましても、保護者の皆様の声を大切にしたい学校づくりに取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

アンケートの結果（生徒回収率82%、保護者回収率70%）

No.	アンケート結果【学習指導】	生徒 肯定的な回答率	11月 7月	保護者 肯定的な回答率
1	教職員はわかりやすく丁寧に授業を進めている。	96% 96%↑	今回 前回	95%
2	教職員は生徒が自分で課題を解決したり、意見を発表したりする授業をしている。	96% 97%↓	今回 前回	95%
3	教職員は生徒がタブレットなどのICT機器を効果的に活用して授業を進めている。	96% 95%↑	今回 前回	95%
4	教職員は道徳科の時間に人間としての生き方を深めることができるよう教え方を工夫している。	95% 94%↑	今回 前回	91%

アンケート結果の分析・考察

生徒と保護者評価は、肯定的な意見が91%以上でした。学習指導の満足度が高い結果となりました。本校では、「教えて考えさせる」授業の理念を基盤とした「子どもと創る学校」を目指す授業づくりとして、授業改善に取り組んでいます。また、ICTの活用は、全国を大幅に上回り、毎時間の授業で対話的・共同的な学習場面のツールとして、「ロイノート」を積極的に活用しています。今後も全ての生徒が「わかる・できる」が実感できるように、指導方法の工夫改善を行いながら学習活動の充実に向けていきます。

No.	アンケート結果【生徒指導】	生徒 肯定的な回答率	11月 7月	保護者 肯定的な回答率
5	教職員は生徒一人一人の性格や考え方を大切に、よさを伸ばす指導をしている。	91% 90%↑	今回 前回	90%
6	教職員は悩みごとや相談ごとがあるときに親身になって応じてくれる。	91% 92%↓	今回 前回	92%
7	教職員は生徒がルールやマナーを守り、規律や規範意識を育てる指導をしている。	94% 96%↓	今回 前回	91%
8	担当している学級や学年は、思いやりがあり、お互いを認め合う温かい雰囲気がある。	87% 90%↓	今回 前回	87%

アンケート結果の分析・考察

生徒と保護者評価は、肯定的な意見が87%以上でした。生徒指導の満足度が高い結果となりました。本校では、親和的・支持的風土づくりとレジリエンスの獲得を目指して、ピア・サポートに取り組んでいます。ピア・サポートの視点は、授業だけでなく、生徒指導の場面も含めた学校生活全般にわたりますが、全職員で組織的に取り組んでいます。今後も生徒一人一人の実態を把握しながら努力の過程を大切にしながら、自己肯定感をもてるように指導していきます。

No.	アンケート結果【学校生活全般】	生徒 肯定的な回答率	11月 7月	保護者 肯定的な回答率
9	学校の施設・設備や備品は安全でよく整備されている。	90% 90%↑	今回 前回	90%
10	学校は地域の人々の協力を得たり、学習環境を生かしたりするなど、地域とのつながりを大切にしている。	87% 89%↓	今回 前回	88%
11	生徒は学習や学校行事、学級活動、生徒会活動、校外学習などに前向きに取り組んでいる。	93% 91%↑	今回 前回	88%
12	生徒は、自分が光陵中学校の生徒でよかったと考えている。	91% 90%↑	今回 前回	93%

アンケート結果の分析・考察

生徒と保護者評価は、肯定的な意見が87%以上でした。学校生活全般の満足度が高い結果となりました。部活動の地域移行の推進や総合的な学習の時間の地域人材の活用などを推進してきました。今後も皆様のご協力をいただきながら教育活動を行いたいと考えております。ご協力をお願いします。